

景観形成重点地区

◇ 都心軸沿道地区／柳川筋沿道、城下筋沿道、主要地方道岡山児島線・国道 250 号沿道
(該当する場合のみ添付)

事項	景観形成基準	チェック	計画・配慮した事項	備考
形態	1. 街並みに調和し、洗練された落ち着いた のある外観の形態とする			
意匠	1. 街並みに調和し、洗練された落ち着いた のある外観の意匠とする 2. シャッターは設けないか、パイプ製シ ャッター等の開放的なものとする 3. 工作物・設備は、直接目に触れない		シャッター (有・無) 形状 色調 (マンセル値)	
壁面の 位置の 制限	(※各都心軸の境界から) 1)敷地面積 $\geq 400 \text{ m}^2$ ・ 1 F $\geq 3.0\text{m}$ ・ 2 F 以上 $\geq 1.0\text{m}$ 2)150 $\text{m}^2 \leq$ 敷地面積 $< 400 \text{ m}^2$ ・ 1 F $\geq 2.0\text{m}$ ・ 2 F 以上 $\geq 1.0\text{m}$ 3)敷地面積 $< 150 \text{ m}^2$ ・ 1 F $\geq 1.0\text{m}$		壁面後退距離 (1 F m) 壁面後退距離 (2 F m) 壁面後退距離 (1 F m) 壁面後退距離 (2 F m) 壁面後退距離 (1 F m)	
素材 材料	1. 外装材は耐久性が高いものとし、光な どが強く反射する外装材は使用しな い			
敷地の 緑化	1. 積極的な植栽を行う 2. 壁面後退空地は歩道部分と調和がとれ た修景とし、植栽配置を工夫し、歩行 者通行空間を確保 3. 隣接地と連続した歩行者空間を確保			
かき さく 塀等	1. 沿道沿いは、かき、さく、塀等を設け ない 2. 壁面後退区域の隣地境界線沿いのか き、さく、塀等は大きく沿道から後退 3. 高さ、材質、色調に配慮した開放的な もの			